

講座 植物園研究最前線

時間 13:30～15:00 / 定員 28名 / 対象 高校生以上 / 要事前予約

申し込み・問い合わせ先 **029-851-5159** (受付時間8:30～17:15)
※お申し込みは各開催日の1ヶ月前からです。

4/16(土) ようやくわかった!! 青いプリムラの発色メカニズム 水野博士の研究

花壇で見掛ける青いプリムラ。実はこの青色は研究者たちを長年悩ませてきました。昨年、この発色のメカニズムがついに解明されるとともに、科博で行われたプータン調査から、ヒマラヤに自生する青いプリムラにも同じ色素成分が含まれていることが分かりました。青いプリムラがたどった歴史を追いかけてみます。

4/30(土) 昆虫をだます花の話 奥山博士の研究

花とその花粉を運ぶ昆虫(送粉者)の関係は「うるわしい助け合い」の関係ばかりではなく、極端な例として昆虫を一方向的に搾取する「だます花」が少なからず存在します。日本の、そして世界各地の昆虫をだます花の興味深い生態と進化の不思議について紹介します。

6/5(日) 日本の野生種をもとに花開いた園芸植物 村井博士の研究

日本の野生種をもとに園芸化された植物は数多く存在し、暮らしか文化を彩ってきました。園内に植栽されている早春の花から、公開中のクレマチス、これから楽しめるアジサイなどを中心に、多様性を紹介します。

8/6(土) 水草から世界の広がりを感じる 田中博士の研究

水草にとっての地球は、ヒトが感じてきた地球の広がりとは随分異なるようです。日本の希少な水草や世界の珍しい水草を見ながら、誕生から進化、そして移動まで、世界を旅したその道のりを探っていきます。

2023年 1/22(日) なぜランは希少になったのか? 遊川博士の研究

絶滅のおそれのある種がずば抜けて多いラン科。なぜこの希少性は生まれたのか? 危機から救うにはどうすればよいか? 最新の研究をご紹介します。

2023年 1/28(土) 植物園における生育域外保全の取り組み 堤博士の研究 — 種子・胞子の保存と増殖から —

研修展示館2Fにある培養室では、主にランやシダ植物の増殖にも取り組んでいます。希少な植物を守るため、種子・胞子からの培養や保存など、植物の特徴を解説しながら、植物園での取り組みを紹介します。

2023年 2/25(土) 野生植物の食用栽培化 國府方博士の研究 — 沖縄伝統野菜ンジャナーを例に —

現在の野菜や穀類は、野生植物からの選抜など栽培化によって生まれ、完成度の高い食用植物となっています。一方、沖縄伝統野菜ンジャナー(ホンパワダン)はいままさに栽培化の途中です。このンジャナーの植物特性を紹介します。

■開園時間

9:00～16:30(入園は16:00まで)

※クレマチス園公開期間及び7月21日～8月31日は9:00～17:00(入園は16:30まで)

■休園日

毎週月曜日(祝日・休日の場合は開園)、年末年始(12月28日～1月4日)
祝日・休日の翌日(土曜・日曜日の場合は開園)

企画展 植物に関するさまざまなテーマで企画展を行っています。

絶滅危惧生物展 —日本の生物多様性の過去、現在、未来— 4/23(土)～5/1(日)



日本列島は、世界でも有数の生物多様性をほこる地域である一方で、現在では多くの種が絶滅に瀕しているという危機にもあります。絶滅危惧生物展では、筑波実験植物園のリビングコレクションをはじめとした標本資料等の展示によって、絶滅の恐れのある日本在来生物の現状を示し、また標本資料が実際の種の保全や多様性研究にどのような貢献をしているかを紹介いたします。

夏休み植物園フェスタ 7/23(土)～7/31(日)



夏休みは植物園に行こう!! 今年の「植物園フェスタ」は、お茶になる植物たちを紹介します。甘いお茶や苦いお茶、美しい青いお茶など、植物の身近な利用の事例を紹介します。他にも園内では、クイズラリーや研究者による園案内など、様々なイベントを開催します。イベントに参加してオリジナルグッズもゲットできちゃうかも!?子どもはもちろん、大人も楽しみながら、植物や自然について学びます。

きのこ展 10/22(土)～10/30(日)



きのこって何の仲間?どんな形のきのこがある?きのこってどこで何をしている?そんな不思議がいっぱいのきのこワールド。野生および栽培のきのこの多様性を示すための生きのこ展示、きのこアート展示などとともに、様々なきのこの魅力を紹介します。

つくば蘭展 2023年 1/22(日)～1/29(日)



世界のランが大集合!世界有数の野生ラン保全施設・筑波実験植物園の「つくばコレクション」から、美しい花、珍しい花など、見ごろの200種類を公開します。さらに協力団体の力作の数々を、大温室のエキゾチックな雰囲気の中でお楽しみ下さい。香り体験コーナー、花の販売コーナーなど、ランのおもしろさをめいっぱい体験できる楽しい展示でお迎えます。

第39回 植物画コンクール入選作品展 2023年 2/18(土)～3/5(日)



植物画を描くことを通じて、植物のすがたを正しく観察し、植物をより深く理解することを目的として、植物画コンクールを開催しています。本作品展では、入選作品を展示紹介します。

応募期間:9/1(木)～10/31(月)

コレクション特別公開・協力団体展示

コレクション特別公開 さくらそう品種展 4/16(土)～4/24(日)



サクラソウは、春を告げる花として日本各地に自生し、古くから親しまれてきました。サクラソウの野生種から作出された150種類以上の園芸品種を、江戸時代から続く伝統園芸の雰囲気の中で展示し、作出の歴史を科学的な知見とともに紹介します。

コレクション特別公開 クレマチス園公開 4/29(金・祝)～6/5(日)



カザグルマをはじめとするクレマチスの野生種や、それらをもとに誕生した多種多様な園芸品種を公開します。日本屈指の展示種類数を誇るクレマチス園で、自然と人が作り出したクレマチスの多様性を体感してください。

協力団体展示 つくば夏の洋蘭展 6/19(日)～6/26(日)



ラン栽培では日本指折りのつくば洋蘭会の会員が、丹精込めて育てた最新の園芸品種、珍しい野生種などを一堂に展示します。夏ならではの魅力あふれるランの世界をお楽しみください。

コレクション特別公開 早春の植物 2023年2/23(木・祝)～3/21(火・祝)



早春の明るい林床では、はかなく咲く花々の競演が楽しめます。そのなかには、野生種をもとに数多くの園芸品種が作出された植物などもあります。春の訪れを告げる早春の花々のリレーとともに、その生態や多様性などを紹介します。



ヒュウガミズキ

令和4年度 イベントガイド Event Guide 2022.4～2023.3



ハンゲシヨウ



水生区



カワラハンノキ

植物多様性を知る・守る・伝える
筑波実験植物園
Tsukuba Botanical Garden

〒305-0005 茨城県つくば市天久保 4-1-1
TEL:029-851-5159 FAX:029-853-8998 <http://www.tbg.kahaku.go.jp/>

事前予約制のイベントのお申込みは、各開催日の1ヶ月前からです。定員になり次第締切ります。

◆植物園研究最前線

植物園ってどんな研究をしているの?植物園の研究員の話を知ったり楽しむ講座です。詳細はおもて面をご覧ください。
時間 13:30～15:00/対象 高校生以上/定員 28名/要事前予約

●とことんセミナー【里山の四季】

筑波山近隣などで見られる身近な自然を解説し園内で観察します。園内では筑波山の植物約400種類が見られます。
講師 国立科学博物館・学習指導員
(各回の担当者は、左記のカレンダーをご確認ください)
時間 10:00～12:00/対象 小学生以上/定員 20名/要事前予約

●とことんセミナー【フェノロジー基礎講座(講義と観察)】

自然の移り変わりをじっくりと観察し、樹木の成長の姿を1年を通して紹介・観察します。附 園芸研究員
時間 13:00～15:30/対象 高校生以上/定員 28名/要事前予約
※2021年度に実施できなかった回の一部を2022年度に実施します。

本講座は中止となりました

●とことんセミナー【野生絶滅種コシガヤホシクサを守る体験講座】

野生から絶滅したコシガヤホシクサ。自生地への野生復帰や植物園での保全活動を体験的に学ぶ全3回の連続講座です。
時間 13:30～15:30/対象 小学生以上/定員 20名/要事前予約
※単発での参加はご相談ください。

■自然史セミナー【鳥の子育て-巣箱の中で起きていること-】

シジュウカラの繁殖の様子を観察し、研究者による調査を見学します。
時間 10:00～11:00/対象 小学校高学年以上/定員 15名/要事前予約
会場 教育棟集合、園内で実施(雨天時は研修展示館3Fで講義)
お問い合わせ: 国立科学博物館 03-5814-9888(平日8:30～17:00)
<http://www.kahaku.go.jp/> (往復はがきまたはHPで受け付けます)

◆手話で楽しむ植物園

植物と、関連する手話について解説します。手話通訳つき。
時間 13:30～15:00/対象 小学生以上/定員 25名/要事前予約
メール申し込み: tbjimu@kahaku.go.jp
協力: つくばバリアフリー学習会

❖第3土曜日はクラフトDAY

植物を使って工作しよう! 予約不要・当日ご参加ください。
開催月とテーマは、左記のカレンダーをご確認ください。
時間 午前の部10:00～12:00(受付11:30まで)
午後の部13:30～16:00(受付15:30まで)

夜の天体観望公開

当面的間、実施を見合わせております。再開は、HP等でご案内します。

月	企画展	講座等	その他イベント
4	4/16(土)～4/24(日) コレクション特別公開 さくらそう品種展	10(日) ●第1回 たねまき / 田中 法生 / 会場:筑波実験植物園 16(土) ◆ようやくわかった!! 青いプリムラの発色メカニズム / 水野 貴行 24(日) ●園内で見る春の植物 / 福田良市・小幡和男 30(土) ◆昆虫をだます花の話 / 奥山 雄大	
	4/23(土)～5/1(日) 絶滅危惧生物展 —日本の生物多様性の過去、現在、未来—	4(水) ■鳥の子育て-巣箱の中で起きていること- / 濱尾 章二	4(水・祝) みどりの日(無料入園日) 18(水) 国際博物館の日(無料入園日) 21(土) ❖押し花コースター
5	4/29(金・祝)～6/5(日) コレクション特別公開 クレマチス園公開		
	6/19(日)～6/26(日) 協力団体展示 つくば夏の洋蘭展	5(日) ◆日本の野生種をもとに花開いた園芸植物 / 村井 良徳	18(土) ❖葉っぱのフロッターージュ
7	7/23(土)～7/31(日) 夏休み植物園フェスタ	3(日) ●植物と虫のかかわり / 石塚武彦・二階堂春恵	16(土) ❖夏野菜で暑中見舞い 26(火)～28(木) めざせ!ベストどんぐりリスト
		6(土) ◆水草から世界の広がりを感じる / 田中 法生	20(土) ❖作ろう!森の図鑑
8			17(土) ❖どんぐりストラップ
		2(日) ●第2回 開花の観察 / 田中 法生 / 会場:下妻市砂沼 9(日) ●園内で見る秋の植物 / 小幡和男・飯田勝明	15(土) ❖木の実でハロウィンパーティー
9		3(木・祝) ◆手話で楽しむ植物園 / 堤 千絵	3(木・祝) 文化の日(無料入園日) 19(土) ❖手作りオーナメント&ガーランド
		6(日) ●第3回 たねとり / 田中 法生 / 会場:筑波実験植物園	17(土) ❖植物スタンプで年賀状
10	10/22(土)～10/30(日) きのこ展		
	2023 1 1/22(日)～1/29(日) つくば蘭展	22(日) ◆なぜランは希少になったのか? / 遊川 知久 28(土) ◆植物園における生育域外保全の取り組み-種子・胞子の保存と増殖から- / 堤 千絵	
2	2/18(土)～3/5(日) 第39回 植物画コンクール入選作品展	25(土) ◆野生植物の食用栽培化-沖縄伝統野菜ンジャーを例に- / 國府方 吾郎 26(日) ●植物の冬越し / 飯田勝明・福田良市	
	2/23(木・祝)～3/21(火・祝) コレクション特別公開 早春の植物		18(土) ❖押し花のメッセージカード
3			